



平成29年度

子どもの貧困対策

子どもの貧困問題は、「子どもの貧困対策の推進に関する法律」(平成26年施行)と、それに基づき政府が同年に策定した「子どもの貧困対策大綱」により、喫緊の政策課題となりました。

本研修では、子ども期の貧困の改善・支援を進めていくための自治体の役割と必要な取組を考えます。

研修の ポイント

- 日本における子どもの貧困の現状、関係する法や制度を理解する。
- 地域における子どもの貧困の現状、課題を把握する。
- 事例を通して、多様な機関の取組や自治体の地域連携の取組を知る。
- 受講者間での情報交換により、子どもの貧困対策に活かせる地域力を理解する。
- 貧困の世代間連鎖の解消を目指した自治体の施策を考える。

開催要領

日程

平成29年10月4日(水)～10月6日(金) (3日間)

場所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象

「子どもの貧困」対策に関わる市区町村等の職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数

40人

募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。

なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費

10,500円

左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。

なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

平成29年8月18日(金)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。

※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<http://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。

経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

- 問い合わせ先 ●

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906

【e-mail】 kenshu@jiam.jp 【ホームページ】 <http://www.jiam.jp>

平成29年

10月

4日(水)

11:00 ~ 入寮受付・昼食

12:30 ~ 開講・オリエンテーション

13:00 ~ 15:35

講義 **子どもの貧困の現状と必要な取組について**

名古屋大学大学院教育発達科学研究科 教授 中嶋 哲彦 氏

日本における子どもの貧困の現状を解説いただき、国の制度や施策の紹介など、様々な視点から子どもの貧困についての課題や必要な取組について、ご講義いただきます。

15:50 ~ 17:20

事例紹介 **思いがけない妊娠の相談窓口からの支援**

大阪母子医療センター 母子保健調査室長 佐藤 拓代 氏

経済的困難を抱えての妊娠・出産に対する支援は、子どもにとって最も早い段階での貧困対策です。しかし、通常のサービスを利用している妊産婦からは貧困があっても見えにくく、貧困がある妊産婦はサービスを利用しない・できない場合があります。そこで、相談の敷居を下げ、匿名でも相談できる思いがけない妊娠の相談窓口「にんしんSOS」を運営し、寄せられる貧困相談に対し、保健・医療・福祉が連携した支援と、具体的に医療で取り組んでいることを紹介いただきます。

17:45 ~

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:25 ~ 10:35

事例紹介 **学習支援事業～地域との連携強化～**

愛知県高浜市 地域福祉グループ 木村 忠好 氏

高浜市の学習支援事業は、子どもたちに様々な経験を積んでもらうため、体験学習や食事提供をあわせて実施されています。切れ目の無い学習支援体制、食事提供のための地域団体への協力要請・基金の運営等、子どもの貧困対策における地域の連携強化の取組を紹介いただきます。

10:50 ~ 12:00

事例紹介 **子どもと親の居場所づくり**

認定特定非営利活動法人だいじょうぶ 理事長 畠山 由美 氏

虐待や貧困でふつうの暮らしがままならない子ども達に温かい家庭を提供するために始めた、子どもの『居場所』づくりを紹介いただきます。官民協働でそれぞれの強みを活かしながら相談から支援まで切れ目のない対応をし、特に子どもと親との双方を支援することによって家庭全体の生活を向上させていく事を目指しています。

13:00 ~ 17:00

演習 **(グループワーク) 子ども期の貧困の改善策・支援策
～貧困の世代間連鎖を断ち切るために～**

子どもの虹情報研修センター 研究部長 川松 亮 氏

受講者それぞれの自治体における子どもの貧困問題の現状をグループ内で共有し、その中からグループで取り組みたい課題を設定し、改善策・支援策案を作成します。

17:00 ~

課外学習

9:25 ~ 12:00

演習 **(発表・講評) 子ども期の貧困の改善策・支援策
～貧困の世代間連鎖を断ち切るために～**

子どもの虹情報研修センター 研究部長 川松 亮 氏

グループごとに作成した子ども期の貧困問題の改善策・支援策案を発表し、全体で共有します。質疑応答や講師の講評により、より良い施策立案に結びつくよう、発表した施策案の改善点や実施時の留意点等を学びます。

13:00 ~ 14:10

講義 **子どもの貧困対策と地域・自治体における取組**

子どもの虹情報研修センター 研究部長 川松 亮 氏

研修を通して学んだ経済的困難を抱える子どもへの支援のあり方を踏まえ、自治体の役割や講じるべき施策等について、まとめの講義をしていただきます。

14:10 ~ 14:40 **ふりかえり、研修アンケート記入、閉講**

平成29年

10月

6日(金)